

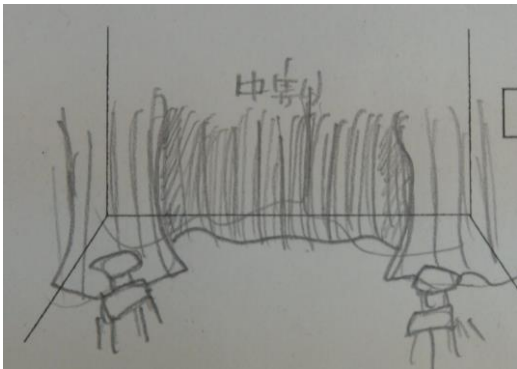
富山県立泊高等学校

扉はひらく

作:出口耕士朗 藤井良平

◇概要◇

教室では全く立場の違う2人。オオタはひとりになりたくないから、みんなの話に合わせて無理して笑う。マイワは教室でひとりぼっちの女の子。映画好きで自分の世界に入り込んでいる。そんな正反対の2人だが、エレベーターに閉じ込められてしまう。エレベーターの中で2人の本音が交錯し、新しい関係性が生まれたように見えたが。。。



◇メッセージカードより◇

- ・舞台上であえて着替えをするのがいいと思いました。学生のナゾの仲間意識をしっかりととらえていて、核心を突くような内容でした。
- ・2人の女子生徒の動作も口調も使い分け方がうまくて感動しました。選曲も「うわ・・・天才かよ・・・!!」って感じで、もう、ありがとうございました!!!!
- ・二人の微妙な距離がすごく忠実に表れていて、すごく心にグッときました。オタ芸キレッキレでしたね!!かっこいい!
- ・最初の気まずい感じから最後には打ち解けた感じになっている感情の表現がすごく細かくて、感動しました。もやもやした終わり方がより印象に残りました。おつかれさまでした!!!!

◇楽屋インタビュー◇

Q1. 衣装チェンジをその場でやった理由を教えてください。

A. ただやるのは面白みがないことと、照明に負担をかけさせないようにするためです。みせるところはみせよう!!ということであのような演出にしました。

Q2. オタ芸をした心境は?

A. やり切った感があります。手拍子がうれしかったです。

Q3. セリフの量が多かったのですが、覚えるときに工夫した点は?

A. 台本を見るのではなくて、実際に口に出してやるのと、話しかけるようにするようにしました。いつもと違う場所でやることもあります。

Q4. 最後の展開について教えてください。

A. マイワがオオタと仲良くなったと思ったが、現実には理不尽で、うまくいかないことを表してみました。



【速報担当】古倉千聖 酒井杏菜(北陸)

※ 泊高等学校のみなさん お疲れ様でした!!